● 17 板倉弘幸

（内容「あすなろ」「とっぴんぱらりのぷう」「ひのき」「コンパニオン」「学年だより」「学級通信「四年生」」「学級通信「五年生」」「学級通信「六年生」」）

上記は、大森第四小、調布大塚小時代の学年通信を集めたものである。

内容は多岐に渡り、極めて断片的であるが、学級通信にはない面白さが見られる。

調布大塚小時代の学年通信は、何号か、目にしたものがある。

しかし、大四小時代のものは、初めて読んだ。

「へぇー」と思ったことがある。かなり、事務連絡の内容が多いのである。これは、学年通信ということからきているのだと思う。

ただし、大塚小の通信はそれほどでもない、むしろ、学級通信に近いといえる。

この変化が面白い。

やはり、向山氏も実務的な仕事をきちんと経てきていることがよくわかった。

大四小５学年通信「コンパニオン」に貴重な文章を発見した。

向山洋一氏、藤平洋子氏、そして向山氏の弟・行雄氏の３人で学年を組んだときのものである。

向山洋一氏は次のように書く。

> 兄弟で、同じ職場にいるのは何ともこそばゆいものだ。時間講師はほとんどなりてがないため、弟にたのみこんだのだが……子供の間では「兄弟だ」「いや、そうじゃない」と。諸説ぷんぷんとか……。とまれ気のもめる一か月間だ。

行雄氏は次のように書く。

> 飯山先生のかわりをつとめる向山行雄です。大四小のことは、常々、兄貴から聞いておりました。（略）今年大学を出たばかりのほんのかけ出しですがよろしくお願い致します。

そして、藤平洋子氏である。

この３人の学年チーム、一体どんなものであったか。想像するだけでも楽しくなってしまうのである。